

NO. 1 事業名 森林管理道開設事業（国補）

箇所・地区名 まつ 松 だいら 平 線

平成20年度公共事業等事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) 国補・県単

事業名	森林管理道開設事業(国補)		事業箇所	北杜市須玉町	地区名	松平線	事業主体	山梨県
(1) 事業着手年度	H2	(2) 事業期間	H2~H15	(3) 完了後経過年数	5年	(4) 総事業費	1,071百万円	
(5) 事業着手時点の課題・背景					(8) 事業位置図等			
<p>本路線は、県北部の北杜市須玉町小尾地内にある全延長6.0km、利用区域面積346haの森林管理道である。利用区域内の61%がカラマツ・ヒノキ等の人工林であるが、その大半が間伐等の森林整備が立ち遅れた状況であるため、路線を整備することにより、効果的な森林整備が行われ、健全な森林環境の形成や地域林業の振興が期待できる。</p> <p>また、県道韮崎増富線(信州峠)から林道小川山線を経て、市営みずがき山自然公園を連絡するルートが確立され、この地を訪れる登山者や観光客の利便性の向上が図られる。</p>					<p>省 略</p>			
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果								
<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の効率化 <p><input type="checkbox"/> 副次目標</p> <p>なし</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火帯の確保 ・リサイクルの推進 								
(7) 整備内容(目標達成の方法)								
<p>森林管理道の開設 実施延長6,021m、幅員4.0m(未舗装)</p>								

2. 評価シート（1）

<p>(1) 事業貢献度 〈 (良) ・ 不良 〉</p> <p>(理由) 林道が開設され県有林の整備を計画的・効率的に行なう条件が整い、県有林管理計画に基づいた主伐、間伐などの施策が実施され、健全な森林が形成されている。 また、間伐材の使用により資源が有効利用されている。</p> <p>①主要目標：森林整備の効率化 伐採対象人工林の割合 39% 利用区域内の人工林率 61%</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指 標</th> <th style="width:40%;">着手時点数値等</th> <th style="width:40%;">評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工林のうち 徒歩30分圏内 の区域割合</td> <td style="text-align: center;">35%</td> <td style="text-align: center;">76%</td> </tr> </tbody> </table> <p>人工林のうち徒歩30分圏内の区域割合が、目標値70%を達成しており、整備対象森林に容易に到達できるようになり、間伐を主体とした森林整備が効率・効果的に実施されている。</p> <p>②副次目標</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指 標</th> <th style="width:40%;">着手時点数値等</th> <th style="width:40%;">評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定せず</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防火帯の確保</td> <td>幅約10m、延長6,021mの防火帯が確保され、山火事の拡大被害を防止することができることとなった。</td> </tr> <tr> <td>リサイクルの推進</td> <td>以前は林内放置となっていた間伐材の有効利用がなされた。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④その他の事業効果の発現状況 信州峠からみずがき山自然公園へのアクセス道として、登山者や観光客に広く利用されている。</p>	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	人工林のうち 徒歩30分圏内 の区域割合	35%	76%	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	設定せず			項 目	内 容	防火帯の確保	幅約10m、延長6,021mの防火帯が確保され、山火事の拡大被害を防止することができることとなった。	リサイクルの推進	以前は林内放置となっていた間伐材の有効利用がなされた。	<p>(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 〈 (有) ・ 無 〉</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:30%;">着手時点の計画</th> <th style="width:50%;">事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: center;">1,200 百万円</td> <td style="text-align: center;">1,071 百万円</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td style="text-align: center;">H2~H15</td> <td style="text-align: center;">H2~H15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td style="text-align: center;">未算出</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td style="text-align: center;">未算出</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td style="text-align: center;">未算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>(要因変化の分析) 不動沢地点について、当初は橋梁で計画していたが、ボックスカルバートを利用した河床路を採用するなどコスト縮減を行ってきた結果、事業費を約1割縮減できた。</p> <p>(3) 事業実施による環境の変化 〈 (有) ・ 無 〉</p> <p>①自然環境への影響 間伐の実施により下草など植生の繁茂による保水能力の上昇、降雨による表土の流出が少なくなるなど公益的機能が向上している。また、森林整備をおこなうことで健全な森林となり、地球温暖化防止に貢献している。</p> <p>②生活・居住環境等への影響 なし。</p> <p>③環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合） なし。</p> <p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 〈 有 ・ (無) 〉</p> <p>①社会経済状況の変化 なし。</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化 なし。</p> <p>③事業環境等の変化 なし。</p>	項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1,200 百万円	1,071 百万円	工 期	H2~H15	H2~H15	経済効率性	費用	未算出	便益	未算出	B/C	未算出
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																	
人工林のうち 徒歩30分圏内 の区域割合	35%	76%																																	
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																	
設定せず																																			
項 目	内 容																																		
防火帯の確保	幅約10m、延長6,021mの防火帯が確保され、山火事の拡大被害を防止することができることとなった。																																		
リサイクルの推進	以前は林内放置となっていた間伐材の有効利用がなされた。																																		
項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																	
総事業費	1,200 百万円	1,071 百万円																																	
工 期	H2~H15	H2~H15																																	
経済効率性	費用	未算出																																	
	便益	未算出																																	
	B/C	未算出																																	

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 有 ・ 無 〉</p>
<p>(理由) 本地域は、林道が開通し森林整備を計画的に実施できる体制が整い、利用区域の全域が県有林であるため、県有林管理計画どおりに森林整備が実施されており、間伐材の有効利用も図られている。 また、今後の森林整備計画についても確実に実施される見込であるため、事後評価を再度実施する必要性はない。</p> <p><input type="checkbox"/>「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： 	<p>(理由) 計画線形の比較検討を実施し、最も経済的な線形を選択する方法を採用している。</p> <p>(具体的反映策) なし。</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ 無 〉</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ 無 〉</p>
<p>(理由) なし。</p> <p>(具体的改善策) なし。</p> <p>(既の実施した改善策の内容と効果) なし。</p>	<p>(理由) なし。</p> <p>(具体的反映策) なし。</p> <p>(9) その他特筆すべき事項</p> <p>なし。</p>

3. 添付資料シート(3)



完了区間の間伐材利用状況（木製土留工）



完了区間の間伐材利用状況（丸太柵工）

3. 添付資料シート(4)



自然石を利用した渡河地点の状況（コスト縮減、生態系・景観配慮）

3. 添付資料シート(5)



沿線の森林整備実施状況（間伐）



完了区間沿線の間伐実施状況